

## 兵庫県勤労者スキー協議会 第49期定期総会 開催！

クラブの特色生かしスキー行事に誘い仲間を増やそう！

第62回兵庫県スキーまつりを中心に150名のスキー協を目指そう！

レクリエーション行事を積極的に取り組もう！

県スキー協「ホームページ」の充実、有効活用しよう！

2024年7月7日(日)午前9時30分から県連事務所(西代)で開催されました。

代議員は21名出席(内 ZOOM2名)でした。見満副会長の開会挨拶で議長に中村氏(どんぐり)と石川氏(ゆきどり)が選出されました。石川会長挨拶、和田理事長の情勢報告が行われました。第48期活動報告・第49期活動方針、決算報告、会計監査報告、予算案、行事計画案が各担当者によって提案されました。討議の後 議案は全員一致で承認採択、新役員を選出しました。午後1時に閉会しました。

### 出席者

銀世界	Active	ドナルドダック	どんぐり	ナイスシニア	パッション	ゆきどり	エグレット姫路
山口	和田	五島 ZOOM	奥田	井澤	道下	石川	村原
山口	釣	五島 ZOOM	中村	辻本	倉佐	石川	村田
						豊田	見満
						藤原	天野
						福田	

激励のメッセージをいただきました。

京都府スキー協議会運営委員長・関西ブロック事務局長 小山 孝夫氏

大阪府スキー協議会会長 大久保正二氏

総会終了後午後1時30分から第1回技術部会が行われました。



参加者 大村（銀世界）、中村（どんぐり）、辻本（NS）、倉佐（パッション）

五島和・五島敦（ドナルド）、和田（Active）、天野・村田・村原（エグレット）

## 1. 2023-24 シーズンテーマ（真下への横滑り）について

- ・テーマを熟知できていないため伝達ができない。着眼点が理解できていないため個々の滑りの批評ができない
- ・指導の機会がなかった。
- ・難しい技術だった。
- ・膝でエッジを緩めるのではなく、体軸でエッジを緩めることが理解できた。先落としのポジションが難しい。
- ・腰の位置を移動させる。
- ・体軸を傾けるのは、斜面に平行ではない。斜面の選定が難しい。
- ・理解しているつもりでも演じられない。（基礎の難しさ）
- ・経験不足。引き出しが少ない。基礎固めをしていく必要がある。
- ・指導員が指導する機会を作っていく。

## 2. 各クラブ技術面での課題

- ・指導法（指導技術）の浅さ→他の指導員の指導を参考にする。
- ・上手な人が多いので指導しにくい。
- ・技術の話があまり出ない。高齢になり攻める滑りをしなくなった。
- ・スキーするために最低限必要な体力作りができていない会員が多い。
- ・一緒に滑るが、技術の話はあまりしない。（アフタースキーの方が楽しみ）
- ・スキーに対する熱量の差（5年後のスキークラブを考える必要がある。）
- ・個人の技術の改善（指導員の技術の引出しを増やす。）

## 3. 技術部への要望

- ・シーズンインするまでに技術部員間で目合わせをして、シーズンテーマを理解しておく。
- ・技術部がすべき年間スケジュールが見える化して、技術部員が相互に協力できるように情報共有する。
- ・指導法の習得。技術伝達する具体的な指導方法を知りたい。
- ・年齢に応じたスキー技術の伝達方法を作ってほしい。
- ・画一的な指導法でないものが必要ではないか。

## 4. 研修会等

- ① 理論学習会 8/24（土） 13:30～ 東条公民館 参加費 500 円 講師：岸本上級指導員  
前日までに県スキー協LINEで参加申し込みをする。
- ② 関西B学習交流会（ZOOM併用）9/7（土）12:30～ 大阪国労会館（兼県指導員座学）  
要項発出次第、各自で申し込み  
講師陣 タナベスポーツ：田中 「コブを楽しく滑る」（予定）、スキー協 野瀬、池田、和田、
- ③ フェスティバル 1/25-26 ハチ高原スキー場  
12月末までに要項発出予定
- ④ 雪上講習（1～2月平日）講師：岸本上級指導員、和田上級指導員
  - ・1/24 おじろ 担当：天野
  - ・2/5 ハチハチ北 担当：村原
  - ・2/14 奥神鍋 担当：天野各研修の集合時間、場所、講習テーマについては各担当者と講師で話し合っ決めて。  
決定事項は12月末をめどに担当者が県スキー協LINEで周知。

## 5. その他

- ・志賀高原でのスキー協としての講習やスキー教室開催については、「志賀高原スキー学校等選考委員会事務局」への届け出が必要。（全国スキー協HP参照）
- ・関西B行事 2024年初滑り、2025年初滑り は兵庫主管のため、兵庫からの参加者、スタッフをお願いしたい。
- ・技術部LINEの作成（作成済み）
- ・技術部で随時ZOOM会議開催できるような環境整備する。

銀世界SC 梅雨夜空のバーベキュー 6月22日（土）

午後6時から大蔵海岸バーベキューサイトで9名の参加者で行われました。夕方5時JR朝霧前に集合、雨が降り出し買い出し中に強くなってきました。会場に着くころには土砂降りになってきました。これだけ雨降りだと会場はガラガラだと思っていましたが、なんと会場は若者でいっぱいでした。



花の浮島の礼文島と日本100名山最北の山利尻岳のある利尻島のウォーキングツアーをトレ行事で行いました。期間は6月9日(日)より13日(木)までの4泊5日のツアーでした。参加者パッション(山本東八郎・山本和子・根岸達雄・藤井博美・光浪喜久子)、Active(原田薫・西堂榮子・釣順信)の8名でした。北海道北端にある二つの島です。初日は神戸空港からスカイマークで



新千歳空港まで飛び、その後はJR特急利用で稚内市まで行きました。駅近くの元ANAホテル泊。樺太を望むなかなか眺めがよかったです。翌日からフェリーで礼文島で北部と南部の民宿各1泊、そして利尻島民宿1泊です。早割航空券と民泊利用で必要経費は10万円台で行けたと思います。礼文島を訪れたのはここしか咲いていないというレブンアツモリ草を見るのが第一の目的でした。この島には3日間滞在し、レブンアツモリ草以外の多くの花々の鑑賞ウォーキングをしました。最終日前日の夕方に礼文島からフェリーで礼文島から利尻島を訪れました。利尻岳は日本100名山ですが、標高1700mもある高山です。雪も残っているだろうし、何せ登山の領域です。高齢者ばかりのツアーですので手強過ぎます。最終日は利尻島一周の観光バスに乗車しました。火山で造られた二つの沼と北国の海を見ました。この日は帰りの飛行機便も利尻空港があるので、午後、新千歳空港までフライトし、その後乗り継ぎ便で21時神戸空港着です。もう北海道の北の端から神戸空港まで半日です。お仕事の関係で長らく北海道におられた山本さんが「北海道は広い。行くなら飛行機利用で」と言っておられたのが実感です。礼文島では本当に3日間の花鑑賞のツアーでした。残念ながら快晴の日はありませんでした。曇りの日が多く、島では利尻岳の全容を見ることもできませんでしたが、多くの花々が迎えてくれました。漢字で書くと、礼文敦盛草、礼文金梅草、礼文草、礼文薄雪草、礼文小桜などの花の数々です。礼文島初日の最北部のスコトン岬を訪れた後、10km以上海岸を歩いてレブンアツモリ草の群生地に行きました。多くの観光客がバスで来ていましたが、私たちは歩いて訪れただけあって感慨深いものがありました。3~4cmの白い袋状の花でした。礼文島2日目はパッション組5名は礼文岳標高470mに強風の中の登山を Active組3名は高山植物園ウォーキングの別行動としました。そして民宿合流です。近くに温泉もあり入浴。礼文島3日目は桃岩登山口よりこの島で一番花の多いコースを取りました。10km、途中雨もあり難儀しましたが、木道もあり花々に慰められました。今回のツアーでよかったのは民宿での食事です。3泊目の宿でバフンウニが出される予定でしたが、海が荒れていて食卓には出ま



せん。残念。北海道の地魚が出ました。ホッケが多く出ましたが、ニシンの煮魚など初めて食べました。実り多い5日間でした。ご参加の皆様、お疲れ様でした。次年度も今度は九州の島々ツアーを計画しています。

## 全国スキー協山スキー部のGW立山大滑降交流会(山スキークラブMSCどんぐり)

今年の5月連休の3～5日は全国スキー協山スキー部主催の「立山バックカントリー大滑降」に参加しました。北海道から兵庫県まで全国から50名の参加で、雷鳥荘に2泊して全国の皆さんと交流することができました。どんぐりからは7名が参加。当初和田会長も参加の予定でしたが都合で欠席になり残念でした。

立山の積雪は例年より少し少ないくらいで、いいザラメ雪で滑りやすい雪質でした。3日間ともいい天気になり4日は7グループに分かれてシール登高と滑降を楽しみました。どんぐりのメンバーは2つのグループのリーダーと初心者グループのサブリーダーを担当しました。どんぐりのうち4人は愛知ぶなの木SCの一部の皆さんと一緒に真砂岳の尾根をシール登高で登って、山頂手前から大走沢の大斜面を滑りました。バックカントリーが初めての人のコースもありますので、他クラブの皆さんも良かったら参加して下さい。



室堂ターミナルから見た立山御山方面です。



雷鳥荘から見た雷鳥平はテントがいっぱいです。



雷鳥荘の前から滑降開始します。



真砂岳山頂付近まで登りました。



真砂岳から大走沢の大斜面を滑ります。



雷鳥も見ることができました。